

湯浅克衛 たけみき 小説家。明治四十二年二月二十六日香川縣生肌、昭和五十七年二月十五日歿（九〇一八二）。本名猛。昭和二年京城中學校卒、四年早稻田第一高等學院中退。十一年雜誌『次々現實』同人、十二年大陸開拓文藝懇話會に加盟、十八年皇道朝鮮研究委員會常任委員、二十年朝鮮文人報國會常務幹事、二十七年日韓親和會會員。

著書『先驅移民』（昭和十四年二月四日新潮社）『新選文藝叢書』一）、『葎』（昭和十四年二月二十日赤塚書房）、『葉山桃子』（昭和十四年五月九日新潮社）『土の文藝叢書』一）、『青心上衣』（昭和十五年八月二十日白羽書房）、『カンナ』（昭和二十一年十一月二十日大日本雄辯會講談社）、『青空どこまでも』（昭和二十二年二月十五日美和書房）、『初恋』（昭和二十七年七月二十日世界社）、『舞姫記』（崔成喜の半生）』（昭和二十九年九月二十日又明社出版部）、『ラテイン・アメリカへの招待―中南米移住読本』（昭和二十二年六月二十日白本週報社）、『南米への旅』（昭和二十八年七月五日留華社）、『カンナ―湯浅克衛植民地小説集』（池田浩十編、平成七年二月十五日インパクト出版会、イザラ書房発売）等。

